

○大学院医学研究科 カリキュラム・ポリシー

医学研究科では、本研究科の「教育目標」及び「学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、以下のとおり体系的なカリキュラムを編成する。

バイオメディカルサイエンス専攻（修士課程）

本専攻では、それぞれの研究分野に精通した専門家であると同時に生命医科学全体にわたって広くかつ深く理解することのできる人材を育成することを目指して、修士課程を一専攻（バイオメディカルサイエンス専攻）で構成している。

- ・ 所属する研究室において、綿密な個人指導ならびにグループ内での共同研究を行い、議論を重ねることにより、生命科学・医学研究を実行する能力および研究成果をまとめて発信するスキルを培う。
- ・ 基礎知識から最先端の研究まで学ぶことのできる同専攻の多種多様な講義に出席する。
- ・ 上記のような生命科学・医学研究の基盤的教育ならびに専門的教育によって、生命学者・医学研究者としての豊かな教養と高い倫理観ならびに探求心と創造性を培う。

これらの能力を養うため、必修科目により生命医科学研究の基礎知識を習得し、選択必修科目により自己の研究領域の専門知識と研究・実験技法を習得できる体系的な教育課程を編成している。学位論文は、これらの知識や技能を活用し、必要な研究指導を受けて作成する。

なお、学習の成果の評価は、学習目標に即して多元的、包括的な方法で行う。

<医科学専攻（博士課程）>

本専攻では、それぞれの研究分野に精通した専門家であると同時に医科学全体にわたって広くかつ深く理解することのできる優秀な指導的立場の人材を育成することを目指して、博士課程を一専攻（医科学専攻）で構成している。

- ・ 所属する研究室において、綿密な個人指導ならびにグループ内での共同研究を行うことにより、医学研究を自ら立案・実行する能力を培う。
- ・ 基礎医学、臨床医学、社会医学より構成される様々な履修コースに所属することにより、基礎知識から最先端の研究まで学ぶことのできる多種多様な講

義に出席する。また、他の関連研究領域の教員および学生と交流することにより、医学研究に関する幅広い知識を得ると共に、新たな研究分野を切り開く能力を培う。

- 医学研究国際コースに所属する様々な国からの留学生との交流や国際学会に出席することにより、異文化への理解と優れたコミュニケーション能力を培う。
- 上記のような医学研究教育ならびに生命倫理教育によって、人間性豊かで高い倫理観ならびに探求心と創造性を有する科学者としての視点を培う。

これらの能力を養うため、共通科目において医学研究の基礎知識や実験手技を習得し、加えて専門家による医学研究の最先端の知見を学ぶ。また専門科目において履修プログラム毎の科目を履修することにより、自己の研究領域の専門知識や研究、或いは高度な診療手技等が修得できる体系的な教育課程を編成している。学位論文は、これらの知識や技能を活用し、必要な研究指導を受けて作成する。

なお、学習の成果の評価は、学習目標に即して多元的、包括的な方法で行う。

バイオメディカルサイエンス専攻(修士課程) 本科コース

	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
必修科目	バイオメディカルサイエンスA			
	バイオメディカルサイエンスB			
	社会医学			
	生命倫理・安全			
	バイオサイエンス基本実習	バイオサイエンス基本実習		
	文献解析・プレゼンテーション演習	文献解析・プレゼンテーション演習		
	バイオメディカルサイエンス特別研究	バイオメディカルサイエンス特別研究	バイオメディカルサイエンス特別研究	バイオメディカルサイエンス特別研究
選択必修科目	シグナル伝達特論	基礎解剖学		
	細胞分子医学特論	微生物感染症学特論		
	薬物治療学特論	統計学		
		科学英語		

※他研究科の授業科目は、4単位まで履修要件に算入することができる。

※地域密着型医学物理スペシャリスト養成コースに関しては、カリキュラムが異なる。